

令和6年度東京都過疎地域持続的発展計画推進会議について

(議事概要)

1 日時 令和6年10月28日(月曜日) 15時15分から16時15分まで

2 議題

(1) 令和5年度 東京都過疎地域持続的発展計画に基づく事業実績について

令和5年度過疎対策事業の実績額(都計画事業総事業費250,251百万円、町村計画事業総事業費20,002百万円)及び町村別の主要事業を報告

(2) 東京都過疎地域持続的発展計画(令和3年度～令和7年度)における取組状況について

東京都(各局)及び各町村からこれまでの取組実績及び今後の中期的な目標・課題を説明し、情報共有及び意見交換を実施

3 参加町村からの主な発言

○ 新島村「移住定住促進事業」

新島村では平成25年に空き家バンクを開設。令和4年からは移住定住相談窓口を外部団体に委託し、令和5年度は259件の移住関連の問い合わせがあった。しかし、肝心の住宅が不足しており、多くの移住者を受け入れるためには住居の確保が喫緊の課題となっている。昨年度と本年度2ヵ年で、東京都の補助を受け、移住定住促進住宅を建設する予定。来年度以降は、式根島にも同様の住宅を建設予定であり、住宅不足の解消に努めていく。

また、移住は人生にかかる大きな決断のため、受け入れる側も移住者の思いに対して丁寧にケアをする必要があることから、令和4年度に移住定住相談窓口を設置し、体制を強化した。さらに同年、移住定住ポータルサイト「Flowlife」を開設し、空き家情報、仕事、コラムなど、移住定住にかかる様々な情報の発信を開始している。

○ 八丈町「八丈町おしごと掲示板」「地域おこし協力隊の導入」

現在八丈島では各事業所の担い手不足が大きな課題。島内の安定した雇用環境の形成にむけて、島内のすべての求人情報を役場で一元化して広報している。令和5年度の実績は、延べ掲載件数89件、採用件数14件。今後も、広報を強化していきたい。

地域おこし協力隊は、隊員を複数課に配属して課間の橋渡しをして仕事をしていけるような仕組みとし、「八盛隊」(＝八丈島を盛り上げ隊)という愛称を設定した。これにより、定住率を底上げしていきたい。